

“ひゅうがの未来”づくり市民ワークショップ 参加者アンケートのまとめ

■テーマ 理想の姿

※第1回WSの意見を基に設定

高齢者や若者、障がいのある人など全ての人が、やりがいを持ちながら、生き生きと働いているまち

【就業・雇用】

若者同士の交流が盛んで、魅力ある場所や交流拠点があり、人と人との交流が生まれ、活気ある元気なまち

【交流】

美しい自然や食、スポーツなどに魅力を感じる観光客が増え、地元の人と仲良くなって、移住する人が増えているまち。

【観光振興】

市民の環境保全活動によって、海や山、川など、美しく豊かな自然が引き継がれ、自然の中で健康に暮らせるまち

【環境保全】

市民の防災意識が高まり、災害時でも互いに助け合い、安全で安心して暮らせるまち

【防災】

地区の祭りや清掃活動などに住民が参加し、住民同士の繋がりが保たれ、互いに助け合いながら暮らせるまち

【地域自治】

■現実とのギャップ

○大学卒業後スキルを活かせる職場が少ない
○年齢に関係なく働ける環境が整っていない
○若者の県外就職が増加
○女性や障がい者が自立できる職場が少ない

○自治会活動が衰退
○中学や高校、大学と市外に進学する人が増加
○若者同士が交流する機会が減少（SNS等の普及など）
○公共施設が老朽化

○観光客等による消費が増えていない
○日向市の魅力が十分に伝わっていない
○魅力を感じる場所や宿泊施設が少ない
○誘客コンテンツを提供する企業が少なく
○移住する人が少ない

○自治会活動が衰退（高齢化などにより清掃活動やごみ出しが困難など）
○耕作放棄地（田畑・山）が増え、荒廃している
○自然への関心が希薄化
○ファーストフード店やコンビニが増加している

○自治会活動が衰退
○消防団の団員不足や高齢化、必要性が認識されていない
○高齢者同士で支えあわなくてはいけない状況
○災害への危機意識が低下し、防災訓練の参加者が少ない

○自治会活動が衰退
○地区の活動や祭りなど担い手が減少している
○出て行った人（若者・退職後）が帰ってこない
○未加入者が増加
○地区の交流行事が減少
○自治会活動に参加する時間的余裕がなくなっている

■改善点課題等

●障がい者も活躍できる労働環境の整備
●女性や障がい者、若者が働きやすくなる企業誘致
●女性の負担を軽減するための制度や環境の整備
●退職後も高齢者が働ける環境の整備
●地元企業の成長促進

●若者が交流できる機会づくり（祭りへの参画や青年団活動での交流等）
●若者が魅力を感じる進学先を創出
●施設の利用促進（誰でも使えるよう、ポスター等による啓発等）
●公共施設の在り方の検討

●情報発信の強化
●地元の人々が魅力を知る
●他地域との差別化（日向市独自のもの）をつくる
●誘客コンテンツを提供する企業・組織づくり
●移住者の受け入れ体制の強化（働く場所や子育て支援、地域との関係など）

●環境教育やSDGs活動の普及
●農地の譲渡の簡素化
●農作業の法人化や共同作業の推進
●自然での遊び方や場所等を学ぶ機会の創出
●教育や地区の活動での市の自然環境の活用

●防災教育・防災訓練等への参加者増
●地区内の交流の活性化
●災害時の高齢者や災害弱者の円滑な避難確保
●時代に合う消防団の役割の検討と機能強化
●ハード整備や技術革新を活用した防災力向上

●地域の交流機会の増加
●時代に合う自治会（地域）運営の在り方の検討
●伝統芸能について学ぶ機会の創出
●住人と各種地域団体との連携強化
●自治会活動の内容の見直しやメリットの発信

■今回の最重要課題

女性が、生き生きと仕事をしやすい環境を作るために、家事や育児等の負担を軽減する

若者同士が交流する機会を増やすため、若者自ら交流できるイベントや場所などをつくる

市民が、地元の魅力を再認識・再発見し、日向にしかない魅力の情報発信を強化する

子ども達が、自然の中で遊ぶ場所や方法を学び（知る）、郷土の自然への興味関心を高める

自助・共助の意識を高め、備蓄や避難路・場所の確認をするなど、災害に備える家庭を増やす

自治会（区）への加入者を増やし、地区（地域）の活動へ参加する子どもや若者を増やす

■行動の提案（アクション）

【行政】
■テレワークへの取組
■女性の雇用ニーズの把握と誘致
■働き方改革の機運醸成

【行政】
■イベントのPR・情報発信
■くつろげる場づくり
■活用しやすい交流の場・施設づくり
■若者の活動支援

【行政】
■広報動画、ポスター、キャッチコピー等の企画・制作
■体験型イベントの実施
■市民と観光客との交流の機会づくり
■子どもサーフィン体験実施

【行政】
■海岸清掃等の環境保全ボランティアの企画・組織化
■外で遊ぶ日の制定
■自然の楽しさや危険性を伝える講話開設
■身近な公園の整備
■SDGsの普及啓発

【行政】
■啓発、防災講座の参加者増の企画、避難訓練の実施時間帯の検討
■備蓄バックの各家庭配布
■災害経験談等の講演会
■被災を想定した講習会
■消防団機能の見直し・強化

【行政】
■各地域の神社・仏閣等の資料をまとめて残す
■自治会の役割を理解してもらうための情報提供
■区と行政の役割やあり方の検討や協議
■区活動のメリットの提供

【市民】
■行政へのテレワーク推進の働きかけ
■民間による市民へのパソコン利用の働きかけ

【市民】
■イベントへの積極的参加
■同窓会での帰省時割引イベントの実施
■オンライン同窓会の実施

【市民】
■地域の魅力を知る
■イベント運営等への参加
■SNSでの拡散（大人目線、子供目線での作成）
■行政の意図を理解したテーマ性のある活動

【市民】
■環境保全や景観ボランティア等への積極的な参加
■自然の中で遊ぶ企画
■自然の楽しさを伝える
■子どものゲームやスマホの使用時間を管理

【市民】
■避難訓練参加の義務化と啓発動画を視聴
■防災組織の設置とその稼働、災害時の役割分担
■消防団による講習会や勉強会等の実施

【市民】
■地域の伝統文化を学び、将来に残し、発信する
■親子に地区の活動の紹介
■時代に合わせた自治会の運営方法（行事等）の検討
■80歳以上は清掃活動免除